仕事	の振り)返り>	ノート(令和5年度	(美施分)			作	成・更新日	2024	年8月9日
事業名	栃木県防	抗化協会参	沙画事業	実施計画事業or一般事業	— <u></u>		市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
				施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし
L. 基本情							•		•	•
	部	行政経営部		予算中事業名		会計		事業計画	単年度	
	課	危機管理課		栃木県防犯協会参画事業		款	2	新規or継続	継続	
	係なっぱ	<u>防犯係</u> 512	名称		科目	項 目	1	市単独or国県補助 義務or任意	市単独	
	体系コード 基本目標		快適により安全で安心して暮らせるまちづくり	根拠法令、条例等	中世			実施方法	任意的 直	
改策体系			,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	栃木県防犯協会定款		開始年度	560			
	政策 施策		安全で安心して暮らせるまちづくり 交通安全・防犯・消費者対策の推進	伽个宗例化励云足泳	州间	終了年度	-	事業分類	参画	争耒
2. 事業 概 (1)事業	美概要		画期間内)目標値 会に会員として昭和60年度から負担金を	支出しており、同防犯協会主催	至の会議	に参加する	ことにより、	防犯活動に	関する情報	最収集や ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
事業概要		を行っている 5犯協会は、!	。 県民一人一人の防犯意識を高め、犯罪のな	い明るい社会の実現を目指し	て設立さ	れた団体で	、会長は栃	木県知事	、会員は各	市町の首
(2)目的	5			(3)目標値						
				効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
目的				参画により必要な情報が得られたと回答した職員の割合	%	100	100	100	100	100
(本事業に よって成し	・防犯活動	について、他市	5の状況や最新情報を得る。	協会参画が有意義であると回答した職員の割合	%	100	100	100	100	100
遂げたい	•他防犯関	連団体との連	携を強化する							
状態)										
3. 前年度 (1)活動		舌動及び費用	対効果)説明	(2)活動を説明する数値デ	タ及び 単位	「事業費の持 R3		D.F.		
				活動指標			R4	R5		
	市の活動)			会議出席回数		0	1	2		
舌動実績			担金の支出、広報チラシ配布等の防犯啓	会議出席者数(延べ人数)	人	0	1	2		
R5年度に	発活動を実	施した。 5 1 3 千円		講演会参加者数(延べ人数)	人	0	1	2		
うた主な活		りょう「ロ 5犯協会の活	動)	事業費計	千円	535	525	513		
動内容)			<i>,</i> 青少年の非行防止、健全育成の推進、防	一般財源	千円	535	525	513		
	犯広報活動	か実施など		特定財源(国·県·他)	千円	0	0	0		
				(うち受益者負担)	千円	0	0	0		
(3)活動	かによる効果			(4)事業効果を説明する数			D.4	DE	→選択して	
				効果指標 参画により必要な情報が得られたと回答した職員の割合	単位 %	R3 100	R4 100	R5 100	指標の性質 値が大きいほど良い	R4とR5の比較 効果は変わらない
効果説明			精演回数が少なく、参加できる取組が減って	協会参画が有意義であると回答した職員の割合	% %	100	100		値が大きいほど良い	効果は変わらない
(,,,			共有や啓発グッズ等を活用した広報活動		70	100	100	100		,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,
定性)	を実施する	ことができた。								
(г) 毒田		日 / 白新刈豆	=)							
	BN別果結果 とR4の一般	果(自動判定 財源増減)	費用の増減無し	※10万円以上の増減により判断				効果		
	効果が上が		0指標				効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった	
効果	効果は変わら	おい指標数	2指標		費	費用は下がった				
(R5とR4の 旨標値増減)	効果が下が	った指標数 指標全体	0指標 効果は変わらな い		用	費用の増減無し		O		
	をに向けた検 15年度の事	討	カストロスクラムVI ける反省点、環境変化や関係者からの意見	等を踏まえた検討課題、費用対	対効果向	•)課題			I

今後も積極的に栃木	退防犯協会との)連進強化を図る
フ1女ひ付付返りりにかかい	、宋ツル・励云(い)注]汚浊1して凹る。

	事業の在り方検討(廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど)
	事業効果を上げるための事務改善の検討
	事業費の見直し検討
	業務時間効率化のための事務改善の検討
✓	特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)

取組説明

各種会議、講演会への参加をするとともに、栃木県防犯協会が作成した防犯に関する啓発グッ ズ、資料等を用いて本市の防犯啓発活動に活用する。

☑ 特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)

作成•更新日 2024年8月9日

	L							ı		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
事業名	犯罪被害	害者等支 接	援事業	実施計画事業or一般事業					総合戦略	
L. 基本情	主			施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし
	部	行政経営部		予算中事業名		会計	— <u>船</u>	事業計画	単年度組	繰り返し,
	課	危機管理課			予算	款		新規or継続	新規	
	係	防犯係		犯罪被害者等支援事業	科目	項	1	市単独or国県補助	市単独	事業
	体系コード	512		根拠法令、条例等		目		義務or任意	任意的	り事業
攺策体系	基本目標	-	快適により安全で安心して暮らせるまちづくり	佐野市犯罪被害者等支援 佐野市犯罪被害者等支援		開始年度		実施方法	直	営
	政策 施策		安全で安心して暮らせるまちづくり 交通安全・防犯・消費者対策の推進	条例、犯罪被害者等基本法	期間	終了年度		事業分類		
2. 事業概要と目的及び(基本計画期間内)目標値 (1)事業概要										
事業概要		音等の支援に)実現を図る。	必要な施策を総合的に推進することにより、	犯罪被害者等が受けた被害の	軽減及(グ回復を図り)、もって安	全で安心し	て暮らすこと	かできる
(2)目的				(3)目標値						
				効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
目的 (本事業に				見舞金支給件数	件	-	-	5	5	5
よって成し			、精神的被害を軽減し、安全で安心して							
遂げたい	春りせる心は	域社会の実現	えを凶る。							
状態)										
3. 前年原 (1)活動		舌動及び費用	引対効果)説明	(2)活動を説明する数値デ	ータ及び	が事業費の排	推移	Ī	1	
				活動指標	単位	R3	R4	R5		
活動実績 R 5 年度に				見舞金支給件数	件	-	-	1		
			テレた「佐野市犯罪被害者等支援条例」							
	の周知広報を広報さのやSNS等にて実施した。 また、本市と佐野警察署、被害者支援センターとちぎと「犯罪被害 者等の支援に関する協定」を締結した。									
				**	m	0		500		
			こ対し、各種支援事業や窓口を紹介したほ	事業費計	千円	0	0	500		
		見舞金を支約		一般財源	千円	0	0	500		
				特定財源(国·県·他)	千円	0	0	0		
				(うち受益者負担)	千円	0	0	0		
(2) 江系	h/= EZ 차田			(4) 東業効用を説明する粉	/古二	カの+#-1夕			1 288401 7	-
(3) 冶里	かによる効果			(4) 事業効果を説明する数 効果指標	単位	R3	R4	R5	→ 選択して 指標の性質	
	佐野市犯罪	『被害者等支	を接条例に基づく見舞金の支給については、	見舞金支給件数	件	0	0	1		効果が上がった
効果説明	佐野警察署	暑のデータより.	、遺族見舞金1件30万円、重傷病見舞			_				
(定量及び 定性)	金2件20万	アラア アラア アラア アラア アラア アラス アイア アイス アイス アイス アイス アイス アイス アイス アイス アイ	上していたが、相談4件に対し、1件が見舞							
~L11/	金の支給対	才象となった。								
(5)費用	月対効果結果	果(自動判定	E)			·				•
費用(R5	とR4の一般		費用が増加した	※10万円以上の増減により判断				効果		
効果	効果が上が効果は変わり	<u>つに指標数</u> らない指標数	1指標 0指標	Ī	費	費用は下がった	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった	
(R5とR4の 旨標値増減)	効果が下が	った指標数	0指標		用	費用の増減無し				
an in		指標全体	効果が上がった		7 15	費用が増加した	0			
	きに向けた検 ロ5年度の事		ける反省点、環境変化や関係者からの意見	等を踏まえた検討課題、費用文	対効果で	可上のための	課題			
刑法犯認知	口件数が増加	ロ傾向にあるが	こめ、犯罪被害者等支援の必要性が高まる	可能性がある。適切な支援がで	きるよう	佐野警察署	骨や各種支	援窓口等と	の連携を強	能化する。
(2) ⊢≣	7万省占757	だ理題を欧士	えた、令和6年度及び令和7年度の取組							
(८ / 上市	以及自然区	1 単版で囲み		取組説明						
		上げるための	、休止、再編成、受益者負担の見直しなど) 事務改善の検討	各種支援窓口等との連携を強	化するカ	こめ、				
	業務時間效	か率化のための	の事務改善の検討							

作成•更新日 2024年8月9日

事業名	被害者式	披害者支援センターとちぎ参画事業		実施計画事業or一般事業	一般事業		市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし	
				施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし	
1. 基本情	青報			•	-				•	·	
	部	行政経営部		予算中事業名		会計	一般	事業計画	単年度網	繰り返し	
	課	危機管理課		被害者支援センターとちぎ参	予算 款	款	2	新規or継続	継続事業		
	係	防犯係		画事業	科目	項	1	市単独or国県補助	市単独	事業	
	体系コード	512	名称	根拠法令、条例等		Ш	22	義務or任意	任意的	事業	
政策体系	基本目標	5	快適により安全で安心して暮らせるまちづくり	犯罪被害者等基本法、佐野	事業	開始年度	H17	実施方法	直	営	
	政策	1	安全で安心して暮らせるまちづくり	市安全で安心なまちづくり条	期間	終了年度	-	事業分類	参画事業		
	施策	2	交通安全・防犯・消費者対策の推進	例							

2. 事業概要と目的及び(基本計画期間内)目標値

(1) 事業概要

事業概要

犯罪被害者等の現状や支援の必要性について市民の理解を深めるとともに、二次的被害を軽減・回復する各種支援を行うため、被害者支援センターとちぎへの参 画を行う。

(2)目的

目的 (本事業に よって成し 遂げたい 状態)

- ・被害者支援についての他市の状況や最新情報を得る。
- ・被害者支援対策についての技術向上を図る。

(3)目標値 単位 R3 R4 R5 R6 効果指標 % 也市の状況等を得られたと回答した職員の割合 100 100 100 100 100 % 参画が有意義であると回答した職員の割合 100 100 100 100 100

3. 前年度の実績(活動及び費用対効果)説明

(1)活動実績

(2)活動を説明する数値データ及び事業費の推移

		活動指標	単位	R3	R4	R5
	(市の活動)	会議出席回数		1	2	2
エミニ		会議出席者数(延べ人数)	人	2	3	3
テった主な活	たほか、犯罪被害者等支援に関するオンライン会議・研修会へ参加	研修会参加者数(延べ人数)	人	2	3	3
	した。 (公益社団法人 被害者支援センターとちぎの活動)	事業費計	千円	241	241	241
	被害者等に対する電話相談、面接相談、援助事業、犯罪被害者	一般財源	千円	241	241	241
	等給付金の申請補助、広報・啓発活動等を実施した。	特定財源(国·県·他)	千円	0	0	0
		(うち受益者負担)	千円	0	0	0

(3)活動による効果

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

効果説明 (定量及び 定性) コロナ前と比べ、会議や公演回数が少なく、参加できる取組が減っているが、県内情勢の情報共有や啓発グッズ等を活用した広報活動を実施することができた。

	刈未拍 惊	半辺	K3	K4	KS	指標の注具	R4CR5の比較
って	他市の状況等を得られたと回答した職員の割合	%	100	100	100	値が大きいほど良い	効果は変わらない
動	参画が有意義であると回答した職員の割合	%	100	100	100	値が大きいほど良い	効果は変わらない
1里川							

(5)費用対効果結果(自動判定)

費用(R5	とR4の一般財源増減)	費用の増減無し
効果	効果が上がった指標数	0指標
	効果は変わらない指標数	2指標
	効果が下がった指標数	0指標
指標值増減)	指標全体	効果は変わらない

※10万円以上の増減により判断

			効果	
		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費	費用は下がった			
	費用の増減無し		0	
用	費用が増加した			

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

令和5年5月に本市と犯罪被害者等支援に関する協定を締結し、さらなる連携強化に努めた。 今後も積極的に情報共有を行い、適切な支援ができるよう、他の関係機関も含めた連携を強化する。

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

	事業の在り方検討	(廃止、	休止、	再編成、	受益者負担の見直しなど)
	事業効果を上げる力	こめの事	事務改	善の検	討
П	事業費の見直し検	讨			

」・事業員の兄直し供的

□ 業務時間効率化のための事務改善の検討

☑ 特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)

取組説明

各種会議、講演会への参加をするとともに、被害者支援センターとちぎが作成した防犯に関する 啓発グッズ、資料等を用いて本市の防犯啓発活動に活用する。 また、犯罪被害者等の支援に関する情報共有を積極的に行う。

作成•更新日 2024年8月9日

事業名	防犯対領	防犯対策・意識啓発事業		実施計画事業or一般事業	実施計画事業		市長公約	4-®	総合戦略	該当なし
				施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし
1. 基本情	青報								·	·
	部	行政経営部		予算中事業名		会計	一般	事業計画	単年度組	繰り返し
	課	危機管理課		│ 一 防犯対策·意識啓発事業 │ ,	予算	款	2	新規or継続	継続	事業
	係	防犯係			科目	項	1	市単独or国県補助	市単独	事業
	体系コード	512	名称	根拠法令、条例等		Ш	22	義務or任意	任意的	事業
政策体系	基本目標	5	快適により安全で安心して暮らせるまちづくり		事業	開始年度	H24	実施方法	直	営
	政策	1	安全で安心して暮らせるまちづくり	野市安全で安心なまちづくり条	期間	終了年度	-	事業分類	審議会等	運営事業
	施策	2	交通安全・防犯・消費者対策の推進				•		•	

2. 事業概要と目的及び(基本計画期間内)目標値

(1) 事業概要

事業概要

安全で住みよいまちづくりを推進するため、安全で安心なまちづくり推進協議会を開催し、市民生活の安全の確保のための各種施策を決定する。

また、東武佐野線各駅周辺や主要幹線道路上等に設置した街頭防犯カメラを適切に運用するとともに、新たに街頭防犯カメラを設置することで、犯罪の減少を図

(2)目的

目的 (本事業に

よって成し

遂げたい 状態)

活動実績 (R5年度に 行った主な活 動内容)

佐野市安全で安心なまちづくり条例を基にした積極的な防犯施策 を推進し、自主防犯意識、地域安全意識を高める。

(3)目標値						
効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
防犯面で安心した生活をしている市民の割合	%	54	58	60	62	64
ながら見守り協力隊員数	人	-	30.0	500.0	600.0	700.0

3. 前年度の実績(活動及び費用対効果)説明

(1)活動実績

(2)活動を説明する数値データ及び事業費の推移

	活動指標	単位	R3	R4	R5
・佐野市女主で女心なよら入り推進協議会の開催(7月) ・年金支給日における特殊詐欺被害防止の広報活動(随時) ・市職員による青色回転灯パトロール(随時)	推進協議会の開催	回	1	1	1
	防犯・ 防火診断参加人数	人	142	0	141
	街頭防犯カメラ設置数(累計	基	15	25	40
・警察や防犯協会との連携による防犯教室等の実施(随時) ・街頭防犯カメラの設置及び既設防犯カメラの維持管理、警察等か	事業費計	千円	3,521	3,128	3,263
ら照会があった際の画像提供(随時) ・ながら見守り活動の広報啓発活動(随時)	一般財源	千円	3,521	128	0
	特定財源(国·県·他)	千円	0	3,000	3,263
	(うち受益者負担)	千円	0	0	0

(3)活動による効果

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

効果説明 (定量及び 定性)

防犯面で安心した生活をしている市民の割合は、令和4年度まで 増加傾向であったが令和5年度は減少に転じた。 ながら見守り協力隊員数は予想を上回る登録者があり、令和4年 度、令和5年度共に目標を大幅に超える隊員数となった。

	効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
で	防犯面で安心した生活をしている市民の割合	%	54.4	58.2	49.6	値が大きいほど良い	効果が下がった
	ながら見守り協力隊員数	人	-	442	800	値が大きいほど良い	効果が上がった
年							

(5)費用対効果結果(自動判定)

費用(R5	とR4の一般財源増減)	費用は下がった				
効果	効果が上がった指標数	1指標				
	効果は変わらない指標数	0指標				
(R5とR4の	効果が下がった指標数	1指標				
指標值増減)	指標全体	効果は変わらない				

※10万円以上の増減により判断

		効果						
		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった				
費	費用は下がった		\circ					
	費用の増減無し							
用	費用が増加した							

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

街頭防犯カメラについては安全で安心なまちづくり推進協議会や警察からも設置の必要性の声があり、適正かつ効果的な設置・運用が求められる。 また、自主防犯団体が高齢化しており、将来的に防犯活動の維持が難しくなることが予想されることから、地域全体の防犯意識を高める必要がある。

(2)	L司長少よ及び田野を吹まった	令和6年度及び令和7年度の取締
(と)	上記以自思及ひ誄思を始まんに、	カ州0年浸及いカ州/年浸の城市

□ 事業の在り方検討(廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど)
☑ 事業効果を上げるための事務改善の検討
□ 事業費の見直し検討
□ 業務時間効率化のための事務改善の検討
□ 特に検討事項無し (現状維持又は現状の計画通り)

取組説明

警察や関係機関と協議を行い、街頭防犯カメラについて既設のカメラも含めた効果的な設置・

また、地域の防犯意識を向上させるため、ながら見守り活動に関する広報啓発活動を継続して 実施する。

1 安全で安心して暮らせるまちづくり

2 交通安全・防犯・消費者対策の推進

作成•更新日 2024年8月9日

支援事業

事業分類

事業名	名 防犯灯設置支援事業		実施計画事業or一般事業	実施計画事業		市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし	
				施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ		スマートシティ	
1. 基本情	青報							•		
	部	行政経営部		予算中事業名		会計	一般	事業計画	単年度組	繰り返し
担当組織	課	危機管理課		// X□//T=□.罕士+巫·市·兴	予算	款	2	新規or継続	継続	事業
	係	防犯係		防犯灯設置支援事業	科目	項	1	市単独or国県補助	市単独	事業
	体系コード	512	名称	根拠法令、条例等		目	22	義務or任意	任意的	事業
	甘十口擂	Г	th 海に FN空会で空でして草にHスまたづ/N		中坐	即松左庇	C26	中华七汁	古	平

2. 事業概要と目的及び(基本計画期間内)目標値

(1) 事業概要

政策

施策

事業概要

政策体系

犯罪のない安全で安心なまちづくりを推進するため、佐野市防犯協会が行う防犯灯設置の補助事業等の支援と、市内に設置されたリース契約のLED防犯灯9,000基の適切な維持管理を行う。

佐野市安全で安心なまちづく

また、現在のリース契約期間が終了する令和7年2月以降の対応について、佐野市防犯協会で決定した対応方針及び対応方策に基づき、これを実施する。

(3)目標値

(2)目的

目的 (本事業に

よって成し 遂げたい

状態)

活動! (R5年 行った! 動内! 防犯灯の新規及び付け替え等による設置により、成果指標単位 R3年度R4年度R5年度R6年度R7年度暗い夜道などを明るくする ことで、市民が安心して生活できるようにする

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
設置基数/防犯灯要望数	%	100	100	100	100	100

3. 前年度の実績(活動及び費用対効果)説明

(1)活動実績

(2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移

期間

終了年度

		活動指標	単位	R3	R4	R5
	佐野市防犯協会へ防犯灯新規設置補助金等の支援を行った。 また、現在のリース契約終了後の対応について、他市町や事業者へ	防犯灯新規設置数	基	47	46	45
		· 防犯灯総数		9,441	9,487	9,532
主な活	·防犯灯新規設置補助 45基 1,346,050円	事業費計	千円	16,717	16,802	19,990
	・防犯灯リース料(佐野市負担分) 7,471,152円・防犯灯電気料補助 9,454基 11,117,904円	一般財源	千円	16,717	16,802	0
	97.13 1空 11/117/30 11 1	特定財源(国·県·他)	千円	0	0	19,990
		(うち受益者負担)	千円	0	0	0

(3)活動による効果

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

令和4年度は防犯灯新規設置補助金の申請数が多く、要望数に 対する設置基数の割合が少なくなった。

令和5年度については、防犯協会総会等で繰り返し説明することで、設置基準に合った形の申請が増えたため、要望数に対する設置基数の割合は増加した。

:(C	効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
	設置基数/防犯灯要望数	%	96	72	100	値が大きいほど良い	効果が上がった
L==							
置							

(5)費用対効果結果(自動判定)

費用(R5	とR4の一般財源増減)	費用は下がった
効果	効果が上がった指標数	1指標
	効果は変わらない指標数	0指標
(R5とR4の	効果が下がった指標数	0指標
指標值増減)	指標全体	効果が上がった

※10万円以上の増減により判断

			効果	
		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費	費用は下がった	0		
	費用の増減無し			
用	費用が増加した			

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

リース防犯灯について、令和7年1月末で現在のリース契約期間が終了することから、令和6年度中に新たにリース契約事業者を選定し、契約する必要がある。

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

	事業の在り方検討(廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど)
	事業効果を上げるための事務改善の検討
~	事業費の見直し検討
	業務時間効率化のための事務改善の検討

□ 特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)

現在設置してあるリース防犯灯については、契約期間終了後、防犯協会に無償譲渡されるが、無償譲渡されたものを整備していくより、新たにリース契約を締結する方が、安定かつ安価で防犯灯を運用することができるため、新たな事業者を選定し、リース防犯灯の入れ替え準備を行う。

仕事の振り返りシート (会和5年度宝施分)

☑ 特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)

上尹	リが成り	ルベリン	/一ト(71413年度	关心力)			1°F/	戏•史新口	2024	年8月9日
事業名	佐野市駅	暴力追放 運	連合会参画事業	実施計画事業or一般事業	— <u>f</u>	投事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
				施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし
L. 基本情						1		I		
	部	教育部		予算中事業名	7 **	会計		事業計画	単年度組織	
	課 係	教育総務課 総務係		佐野市暴力追放連合会参画		款 項	10	新規or継続 市単独or国県補助	継続 市単犯	
	体系コード	512	名称	事業 根拠法令、条例等	科目	目	2	義務or任意	任意的	
	基本目標		快適により安全で安心して暮らせるまちづくり		車業	開始年度	_	実施方法	直	
攺策体系	政策		安全で安心して暮らせるまちづくり			終了年度	113	事業分類	-	
	施策		交通安全・防犯・消費者対策の推進		7431=3	火十八		子未乃从	<u> </u>	子木
(1)事業	き概要 佐野市暴力	」追放連合会	画期間内)目標値 窓に会員として負担金を支出している。また、							
事業概要	※佐野市駅である。	《力追放連合	会とは、警察をはじめとする市内関係機関	、各種団体や住民により、暴力の	かない明	るく住みよし	まちづくりを	推進するた	.めに設立さ	れた団体
(2)目的]			(3)目標値						
				効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
目的				会議出席回数		1	1	1	1	1
(本事業に よって成し	暴力のない	明ろく住みよい	いまちづくりを推進する。							
遂げたい	3273 - 7.0.0	·/) & (±0/0(0								
状態)										
									<u> </u>	
3. 前年度 (1)活動	実績		3対効果)説明	(2)活動を説明する数値デ		事業費の抽	推移		1	
	(市の活動)			活動指標	単位	R3	R4	R5		
	佐野中泰刀]追放建合会	に負担金を支出、総会等に出席。	会議出席回数	人	1	1	1		
(佐野市暴力追放連合会の活動)										
舌動実績 R5年度に	総会や佐	野市安心のま	ちづくり推進市民大会の開催。(佐野市							
たまな活	-	直合会の活動	•	事業費計	千円	10	10	10		
動内容)			暴力排除講話の実施、関係団体との連携	2 1132 121		_		10		
	した運動の原			一般財源特定財源(国・県・他)	千円	10	10	10		
				,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,						
				(うち受益者負担)	千円				j	
(3)活動	たよる効果			(4) 事業効果を説明する数	-	の推移			↓選択して	で下さい
				効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
効果説明		 -	** - ** 0	会議出席回数	回	1	1	1	値が大きいほど良い	効果は変わらない
(定量及び			哉の高揚や情報を得られた。						ļ	
` 定性)	・谷梩関係	団体との連携	を図ることにより情報の共有化が図られた。							
									<u> </u>	
		果(自動判定				j		***		1
	とR4の一般 効果が上が		費用の増減無し 0指標	※10万円以上の増減により判断			効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった	
※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※	効果は変わら	うない指標数	1指標		費	費用は下がった	<i>X</i> 3. <i>X</i> 7. <i>Y</i> 17. <i>Y</i> 12.	7937KIOSE13 3-0-0 1	73.KN 113 31C	
(R5とR4の 指標値増減)	効果が下が	うた指標数 指標全体	0指標 効果は変わらない		用	費用の増減無し		0		
		拍倧土仲	刈木は多りつない			賃用が増加した				
	をに向けた検] 5 年度の事		ける反省点、環境変化や関係者からの意見	男等を踏まえた検討課題、費用対	对効果向	可上のための	課題			
暴力のない	い明るく住み	よいまちづくりの	の推進のために、関係団体等と連携し、本会	会の活動を継続する必要がある。						
(2) ⊦≣i	1.反省占及7	/課題を踏ま	えた、令和6年度及び令和7年度の取組							
/		- PINCE CHOW		取組説明						
	事業効果を	上げるための	、休止、再編成、受益者負担の見直しなど) 事務改善の検討		-+~=	こた、高い。 こし	李结 本冠交	公千番√──		
_	事業費の見 業務時間效		D事務改善の検討	関係団体等との情報共有、また 	こ人芸芸	Fで进し、引	で杌さ俗弁	が出いる	99 る。	

2 交通安全・防犯・消費者対策の推進

事業名 佐野市防犯協会支援事業 実施計画事業or一般事業 一般事業 市長公約 該当なし 総合戦略 該当なし 施策横断的な取組との関連性 SDGs 該当なし コンパクトシティ 該当なし スマートシティ 該当なし 1. 基本情報 予算中事業名 一般 事業計画 単年度繰り返し 部 行政経営部 会計 担当組織 課 危機管理課 予算 款 2 新規or継続 継続事業 佐野市防犯協会支援事業 防犯係 項 市単独or国県補助 市単独事業 係 科目 1 目 512 名称 根拠法令、条例等 任意的事業 体系コード 義務or任意 基本目標 開始年度 5 快適により安全で安心して暮らせるまちづくり 事業 S36 実施方法 直営 佐野市安全で安心なまちづく 政策体系 期間終了年度 政策 1 安全で安心して暮らせるまちづくり 事業分類 支援事業

り条例

2. 事業概要と目的及び(基本計画期間内)目標値

(1) 事業概要

施策

事業概要

犯罪のない安全で安心なまちづくりを実現するため、市民の防犯意識を高めるとともに、各種犯罪の予防、青少年の非行防止及び健全育成を図るため、佐野市防 犯協会の支援を行う。

(3) 日煙値

(2)目的

目的 (本事業に よって成し 遂げたい 状態)

・市民に対し防犯広報や啓発活動等を行い、自主防犯活動の重 要性を理解してもらう。

・自主防犯活動を実践してもらう。

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
防犯対策を行っている割合	%	91	93	95	97	98
自主防犯団体数	団体	77	78	79	80	81

3. 前年度の実績(活動及び費用対効果)説明

(1)活動実績

活動 (R5 行った 動内 (2)活動を説明する数値データ及び事業費の推移

		活動指標	単位	R3	R4	R5
	(市の活動)	事業活動数	事業	6	6	6
	佐野市防犯協会に負担金を支出するための手続き(負担金の申	防犯啓発活動数		8	15	22
動美領 5年度に	請受理、負担金支出)を行った(6月) ・負担金 2,400,000円(一般防犯分)	防犯啓発チラシ等配布数	部	76,520	77,500	82,520
た主な活 内容)	(佐野市防犯協会の活動) 総会、理事会の実施、不審者対応訓練・防犯教室への参加、その	事業費計	千円	2,400	2,400	2,400
		一般財源	千円	2,400	2,400	2,400
	他啓発活動	特定財源(国·県·他)	千円			
		(うち受益者負担)	千円			

(3)活動による効果

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

効果説明 (定量及び 定性)

防犯対策を行っている割合は、令和4年度に減少したものの、令

5年度では増加した。
また、自主防犯団体数は、学校の統廃合により令和3年度に減少
したが、令和5年度に1団体増加した。

	効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
和	防犯対策を行っている割合	%	93.4	93.0	93.5	値が大きいほど良い	効果が上がった
	自主防犯団体数	団体	77	77	78	値が大きいほど良い	効果が上がった
沙							

(5)費用対効果結果(自動判定)

費用(R5	とR4の一般財源増減)	費用の増減無し
効果	効果が上がった指標数	2指標
	効果は変わらない指標数	0指標
(R5とR4の	効果が下がった指標数	0指標
指標値増減)	指標全体	効果が上がった

※10万円以上の増減により判断

			効果	
		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費	費用は下がった			
	費用の増減無し	0		
用	費用が増加した			

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

自主防犯団体等から防犯グッズの作成要望等があり、可能な範囲で対応している。今後も同様になるべく要望に沿えるよう適正かつ効果的な防犯協会の運営が必要である。 また、刑法犯認知件数が増加傾向にあることから、市民のさらなる防犯意識の向上が必要である。

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

	事業の在り方検討(廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど)
	事業効果を上げるための事務改善の検討
	事業費の見直し検討
	業務時間効率化のための事務改善の検討
V	特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)

取組説明

さまざまな手法を用いた広報活動(デジタルサイネージ等)を実施し、防犯意識がさらに浸透さ せられるよう啓発活動を行っていく。

☑ 特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)

作成·更新日 2024年8月9

11 7			1 (13	145 71							
事業名	街頭補導	掌実施事業	ŧ		実施計画事業or一般事業	— <u></u>	般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
					施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし
1. 基本情					予算中事業名		会計		事業計画	単年度	品いた し
	部 教育部 課 少年指導センター				予算			新規or継続	継続		
	係	7 131 (3 0)			街頭補導実施事業	科目		4	市単独or国県補助	市単独	
	体系コード	512	名	3称	根拠法令、条例等		目	6	義務or任意	任意的	事業
政策体系	基本目標	5	快適により安全で安心	して暮らせるまちづくり	│ ・佐野市少年指導センター条		開始年度	S49	実施方法	直	営
	政策 施策		安全で安心して暮ら交通安全・防犯・消		例、同条例施行規則	期間	終了年度		事業分類	教育·指	/導事業
(1)事業	美概要		画期間内)目標値	- 防止及び健全育成を	図る。						
(2)目的	<u> </u>				(3)目標値						
(2) 🖽	ע וע				効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
目的					巡回時に声掛けした人数	人	480		500	500	500
(本事業に	街頭補導実	ミ施時に声掛(けをすることにより、青	少年の非行の早期発							
よって成し 遂げたい	見、未然防	止を図る。									
状態)											i
3.前年度 (1)活動		5動及び費用	対効果)説明		(2)活動を説明する数値デ	ータ及び	 事業費の指	<u> </u>			
					活動指標	単位	R3	R4	R5		
				自主街頭補導実施数		222	315	339			
				定例街頭補導実施数		35					
活動実績 (R5年度に									60		
			頭補導(補導員の自	1主性にゆだねての巡	特別補導実施数		6	6	8		
テった主な活動内容)				事業費計	千円	3,584	4,089	3,930			
#//r 1 /2/ /				一般財源	千円	3,584	4,089	3,930			
				特定財源(国·県·他)	千円						
					(うち受益者負担)	千円					
(-)					(* - 7 7 - 7 - 7 - 7		14.55				
(3) 活動	かによる効果 				(4)事業効果を説明する数			D.4	DE	→選択して	
					効果指標 効果指標	単位人	R3 478	R4 510	R5	34 131 7 145 7	R4とR5の比較 効果が上がった
効果説明	街頭補導第	€施時に声掛(けをすることにより、青	少年の非行の早期発	連出利の が可りのたべ数		170	310	370		793703 113 310
(定量及び 定性)	見、未然防	止を図った。									
ÆII)											
(5)費用	月対効果結果	艮 (自動判定	2)								i
費用(R5	とR4の一般			下がった	※10万円以上の増減により判断				効果		ı
効果	効果が上が効果は変わる	つに指標数 らない指標数	13 03	指標 指標		費	費用は下がった	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった	i
(R5とR4の 指標値増減)	効果が下が	った指標数	03	旨標		用	費用の増減無し				i
in or in-nay		指標全体	2000年7月1日 2000年7月 2000年7月1日 2000年7月1日 2000年7月	上がった		7 15	費用が増加した				
(1) 令和		■業実施におい		化や関係者からの意見 方止及び健全育成を図	等を踏まえた検討課題、費用対	効果向	<u> 上のための</u>	課題			
(2) 上記	己反省点及び	「課題を踏まえ	た、令和6年度及び	が令和7年度の取組		ı					
_			、休止、再編成、受益者 事務改善の検討	(負担の見直しなど)	取組説明						
	事業費の見	し直し検討	事務改善の検討								

事業の在り方検討(廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど)

☑ 事業効果を上げるための事務改善の検討

□ 業務時間効率化のための事務改善の検討

□ 特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)

□ 事業費の見直し検討

作成•更新日 2024年8月9日

事業名	少年補導	真会運営	支援事業	実施計画事業or一般事業	— <u>;</u>	般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
				施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし
L. 基本情		*h * 		マケナ 市 半 ち		∧= 1	An	古光ニー	24 A	AND I
	部 課	教育部 少年指導セン	·/A	予算中事業名	マ 哲	会計款		事業計画 新規or継続	単年度 継続	
23組械	係	少年拍得じ	/9-	少年補導員会運営支援事業	予算 科目	項	4	市単独or国県補助		李耒 虫事業
	体系コード	512	名称	根拠法令、条例等	170	目		義務or任意	任意的	
	基本目標		快適により安全で安心して暮らせるまちづくり	社会教育法(第11条)	事業	開始年度		実施方法		 営
政策体系	政策			佐野市社会教育関係団体補		終了年度	<u> </u>	事業分類		<u>'''</u> 事業
	施策		交通安全・防犯・消費者対策の推進	助金交付要領		112 1121		2 21322111		
2. 事業 概 (1)事業		なび(基本計	画期間内)目標値							
事業概要	佐野市少年	F補導員会を	通し青少年の健全育成を図るため、補助金	を交付し会の円滑な運営を支持	爰する。					
(2)目的	-			(3)目標値						
(2) 🔐	J			効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
目的				団体の補助金執行率	%	100	100	100		100
(本事業に	/ /	- 井道皇会の	ᆩᄺᄼᄺᄼᄱᅔᅈᄀ							
よって成し 遂げたい	佐野中少年	F開导貝云の	円滑な運営と財政の健全化を図る。							
状態)										
3. 前年度 (1)活動		舌動及び費用	対効果)説明	(2)活動を説明する数値デ 活動指標	- タ及び 単位	事業費の推 R3	移 R4	R5]	
活動実績	「古の迁動」	【市の活動】				1.5	1	1.0		
	・補助金交			補助団体数	団体	1	1	1		
	開助业文	נו								
	【佐野市少:	年補導員会の)活動】							
たまな活		補導の実施		事業費計	千円	50	0	0	L	
動内容)	・7月、12月	の列車補導	、秀郷祭り、えびす講、田沼初午祭りでの	3 213 221					I	
	特別補導の	実施		一般財源		50	0	0		
	等			特定財源(国·県·他)	千円					
				(うち受益者負担)	千円					
/ つ \ エモ				/ 4 〉 東光	· /:== `	10.1H10			1 122401 =	
(3) 活里	かによる効果 			(4)事業効果を説明する数 効果指標	単位	R3	R4	R5	→ 選択して 指標の性質	R4とR5の比較
				団体の補助金執行率	%	100	0		指信の力主員 値が大きいほど良い	効果は変わらない
効果説明	団体の定例	往前補導、列	リ車補導、特別補導の実施により、本市に	四件の間如並行	70	100				7937KIOSE(13 3 OC)
(定量及び			に寄与することができた。							
定性)										
(5)費用	対効果結果	果(自動判定	")							
	とR4の一般		費用の増減無し	※10万円以上の増減により判断				効果		
効果	効果が上がった指標数 0指標			=			効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった	
メリス (R5とR4の	効果は変わり効果が下が	らない指標数 った指標数	1指標 		費	費用は下がった		0		
· 指標值増減)	<i>XII</i> XII XII XII XII XII XII XII XII XII XII	指標全体	効果は変わらない		用	費用が増加した				
	をに向けた検 15年度の事		ける反省点、環境変化や関係者からの意見	場を踏まえた検討課題、費用対	効果向]上のための]	課題			
			〉年補導員研修会の未実施が決定したため 修会の開催を予定している。 	ら、補助金の交付を行わなかった <i>が</i>	が、定例	街頭補導等	学の団体活	動は実施す	ることができ	た。今後
(2) 上記	尼反省点及び	/課題を踏まえ	た、令和6年度及び令和7年度の取組							
				取組説明						

少年補導員研修会の実施を予定している。

作成・更新日 2024年8月9日

事業名	佐野市駅	 表力追放達	合会参画事業	実施計画事業or一般事業	—я́	投事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
				施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし
1. 基本情	青報			•	-				,	•
	部	行政経営部		予算中事業名	会計		一般	事業計画	単年度網	繰り返し
	課	危機管理課		佐野市暴力追放連合会参	予算 款	2	新規or継続	継続	事業	
	係	防犯係		画事業	科目	項	1	市単独or国県補助	市単独	事業
政策体系	体系コード	512	名称	根拠法令、条例等		目	22	義務or任意	任意的	事業
	基本目標	5	快適により安全で安心して暮らせるまちづくり		事業	開始年度	H5	実施方法	直	宮
	政策	1	安全で安心して暮らせるまちづくり	佐野市暴力団排除条例	期間	終了年度	-	事業分類	参画	事業
	施策	2	交通安全・防犯・消費者対策の推進						·	·

2. 事業概要と目的及び(基本計画期間内)目標値

(1) 事業概要

(-) 3 2 (12/02

関係機関、各種団体及び市民が、暴力追放活動を展開し、暴力のない明るく住みよいまちづくりを推進するため、佐野市暴力追放連合会への参画を行う。

(3)目標値

(2)目的

事業概要

<u>пр.</u>

・暴力追放、不当要求防止についての最新情報を収集する。

目的 (本事業に よって成し 遂げたい 状態)

・暴力追放、不当要求防止についての最新情報を収集する。 ・暴力追放、不当要求防止についての対応に関する技術向上を図る。

	(- / - - - -						
	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
	参画によって最新情報を得られたとする割合	%	100	100	100	100	100
7	参画が有意義であると回答した職員の割合	%	100	100	100	100	100
되							

3. 前年度の実績(活動及び費用対効果)説明

(1)活動実績

活動実績 (R5年度に 行った主な活動内容) (2)活動を説明する数値データ及び事業費の推移

	活動指標	単位	R3	R4	R5
(1, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	会議出席回数	回	1	1	1
(市の活動) 佐野市暴力追放連合会への負担金10千円の支出、総会参加、 佐野市不当要求等防止対策委員会を開催した。 (佐野市暴力追放連合会の活動) 総会の開催、暴力団追放啓発品(うちわ)の作成、さの秀郷まつり会場における暴力団排除啓発活動	会議出席者数(延べ人数)	人	16	22	26
	講習会、講演会参加者数	人	0	22	26
	事業費計	千円	10	10	10
	一般財源	千円	10	10	10
	特定財源(国·県·他)	千円	0	0	0
	(うち受益者負担)	千円	0	0	0

(3)活動による効果

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

効果説明 (定量及び 定性)

コロナ前と比べ、令和4年度までは会議等に制限があったほか、さの 秀郷まつりでの啓発活動もできなかったが、令和5年度は開催となっ たため、啓発活動を実施することができた。

	※ 対表拍標	甲位	K3	K4	KS	指標の注具	R4CR5の比較
ഗ	参画によって最新情報を得られたとする割合	%	100	100	100	値が大きいほど良い	効果は変わらない
	参画が有意義であると回答した職員の割合	%	100	100	100	値が大きいほど良い	効果は変わらない
トノ							

(5)費用対効果結果(自動判定)

費用(R5	とR4の一般財源増減)	費用の増減無し
効果	効果が上がった指標数	0指標
,,,,,,,	効果は変わらない指標数	2指標
(R5とR4の	効果が下がった指標数	0指標
指標值増減)	指標全体	効果は変わらない

※10万円以上の増減により判断

			効果	
		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費	費用は下がった			
	費用の増減無し		0	
用	費用が増加した			

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

暴力団が関係する事件等の発生はないものの、いつ発生するかわからないため、継続して啓発活動を実施する必要がある。

(2)	ト記点少占及が無額を効まった	令和6年度及び令和7年度の取締
(Z)	上記以自以及い誄越を始まんに、	カ州0年浸及いカ州/平浸の城市

	事業の在り方検討(廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど)
	事業効果を上げるための事務改善の検討
	事業費の見直し検討
	業務時間効率化のための事務改善の検討
✓	特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)

当会が以前より注力している祭り会場からの暴力団排除について、引き続き広報啓発活動を 実施していく。